



未来



11月22日に長柄用水へ見学に行き、4箇所の見学地をバスや徒歩で回りました。最初に、学校の玄関前で大海地区の航空写真を見ました。大海小学校の周辺に田んぼが広がっていることや土地の高低差があることを確認しました。次に、大昔から長柄用水の管理をしている古林家を見に行きました。山道を少し登った先に、箕打トンネルがあり、箕打トンネルの中には用水が流れていました。三百年前の人が、周辺の土地やトンネルをつるはしなどの道具で掘ったそうです。長柄用水を作るために、約三万人の人が関わったことを知り、子供達は驚いていました。また、実際に歩いて見学することで、長柄用水が山の裾に沿って張り巡らされていることを実感することができました。子供達の振り返りには、「長柄用水がないと長柄や夏栗の田んぼがなかったので長柄用水は、大切だなと思いました。」「古林さんが、長柄用水を守り続けてきたのですごいなと思いました。」と書いてありました。



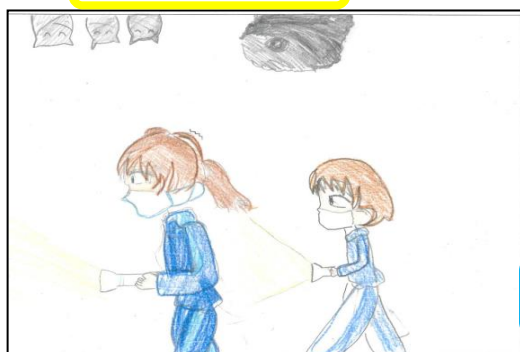
箕打トンネルの様子です。夢花さん作



凛華さん作



なのはさん作



紅花さん作

